

埼玉労山

埼玉県勤労者山岳連盟機関紙 発行:武笠真次
〒336-0011さいたま市浦和区高砂 4-1-5 ふじビル2階 編集:青木 正

秋も暑い埼玉! 交流・勉強会目白押し

理事会報告

八月二十七日(水)浦和県連事務所第6回理事会を十一名参加で行いました。

委員会等活動経過報告・計画予定

【全国連盟活動】臨時評議会二十八期第一回評議会(十一月九日(日)午前十一時〜午後三時(全国連盟事務所))

【県連全体活動】全国からのアンケート八月三十一日締め切り 未提出の会は早急に提出してください。

【事務局】労山カード訂正依頼 新座山の会 遭難防止・安全教育担当者会議、安全登山講演会会場予約。三役会議 9月4日(木) さいたま市市民活動サポートセンター

【財政】前期納入二十八団体 (二団体未納) ホームページ

HP実務担当者 三郷山の会 鈴木氏にメールにて再依頼 (八二十四)

【女性】女性委員会 八月二十五日(月) 八月二十七日現在 東日本女性登山交流集会(岩手、埼玉から二十四名(日帰り2名)参加予定)当日朝出発 帰りは夜行に計画を再度変更

【ハイキング】中央登山学校第9回全国ハイキングリダー学校9/13〜15

(岡山 蒜山高原)三郷山の会2名参加

【自然保護】関東ブロック自然保護交流集会 (10/9) (労山全国連盟事務所) 第十四回全国登山者自然保護交流集会 (11/9) (泰野市丹沢野外活動センター) 杉江理事参加

【遭難防止 安全教育】安全教育担当者会議 実施日、十一月十五日(土) AM十時より 会場 パルコ十階(浦和コミセン)

【救助隊】関東ブロック救助隊役員情報交換 8/6 PM7:30 全国連盟事務所(神1、千1、東1、埼3出席)

【急ぎよ埼玉主管に変更】湯檜曾川流域東黒沢登山学校

8/2地図の読み方(机上)受講者十六名(スポット三含む)

8/3地図の読み方(実技) 兜山 受講者十三名(二)

9/6 岩登り(机上) 9/7 岩登り(実技) 日和田山

【ブロック会議】西部ブロック交流集会(11/16)について。二月頃初級登山講座(日帰り)を検討 南部=8月は中止 9/18

【議 題】

【関東ブロック役員交流集会概要検討】 9月6日〜7日秩父市吉田元気村

受付十三時三十分 会議十四時〜十六時三十分 (各県の活動報告)

入浴後、夕食及び懇親会 翌日、二子山 8時30分 出発 雨天時二子山は中止 参加団体

千葉 広木国昭代表 神奈川 田村和寿 対部長 東京都(5名) 石川、田上、佐々木、陶山(つやま)、あと一人は土曜のみ参加

茨城 松倉実枝子 副理事長 事務局 山村幸夫 群馬 奈良原理事長 島田事務局長

栃木(2〜3名参加予定) 埼玉県連参加予定者 武笠理事長、矢崎副理事長、徳重副理事長、佐藤副理事長、杉江理事、廣岡理事 (木阪事務局長は遅れて参加)

【安全登山講演会】 実施日 十一月十五日(土) 受付十三時三十分 開演十四時〜一五:三〇(質疑応答含め十六:〇〇終了) 会場 浦和コミセン(十階) 定員九〇名

講師 大野秀樹氏(杏林大学医学部衛生学教室主任教授(現・衛生学公衆衛生学教室主任教授))

テーマ 「登山と健康」 受講料 ¥六〇〇 申込先 埼玉労山事務局 木坂まで 会単位でFAXま

たはメールにて 定員に達し次第締め切り

チラシ作製 (青木理事) 遭難防止・安全教育担当者会議

実施日 十一月十五日(土) 会場 浦和コミセン 定員 22名

受付午前九:三〇 開会 午前十:〇〇 議題・内容 ヒヤリハット継続審議、その他の内容は後日打合せ

その他

・心拍実験登山(熊倉山)の概要検討 11/29 (予備日30日)

のんびり班、標準班、県客班、頑張り班の4班構成。実験器具の都合で十名程度の予定だが多数の場合は同行の参加とする。

(チラシ作製 澤藤理事)

関東ブロック自然保護交流集会

10月18日(土)午後1時〜19日(日) 「山と地球規模の環境保全を考える」 場所 労山全国事務所 参加費 無料
●記念講演 大阪豊中労山 池田 茂先生 「大気汚染と自然保護」 他各連盟の自然保護報告
19日(日)京王線高尾山口駅 10:00 集合 紅葉の高尾山とカプセル操作体験ハイク 当日参加歓迎 東京都勤労者山岳連盟

見上げてごらん夜の星を

作詞 永六輔 作曲 いずみたく

みんなの歌
見上げてごらん 夜の星を 小さな星の 小さな光りが ささやかな幸せを うたってる
見上げてごらん 夜の星を ぼくらのように 名もない星が ささやかな幸せを 祈ってる
手をつなごう ぼくと 追いかけて 夢を二人なら 苦しくなんかないさ
見上げてごらん 夜の星を 小さな星の 小さな光りが ささやかな幸せを うたってる
見上げてごらん 夜の星を ぼくらのように 名もない星が ささやかな幸せを 祈ってる

労山中央登山学校に参加

梅澤俊雄

(秩父AP会報より)

七月十二日(土)、労山全国連盟事務所で、労山中央登山学校指導者セミナーが開催され、私が参加してきました。参加者は約二十名、少ない感じでした。

一人目の講師はアルパインツアーサービス社長の黒川恵氏。「ツアー登山の現状とその功罪」という演題で、とても興味深い内容でした。客という立場で参加している登山者と、引率者・サービス提供者としての業者・ガイドの関係や客同士の関係で、私たち組織登山者とはまったく違うものがあると痛感しました。特に、「個人情報保護」という世相をそのまま反映し、参加者名簿は配らない。自己紹介もしない場合もある。集合写真に写りたくない人はそのように申告する。集団としての力はとても弱い。こういった現状が大きな事故に結びついているようです。羊蹄山の遭難で業界へ厳しい判決が出されたことを受け、「ツアー登山運行ガイドライン」を自主的につくり、重大事故防止にかなりの努力をしている

そうです。天候急変時の対応・通信手段の確保・自集団形成・引率者の責任と役割など、とても立派なものです。私の手元にありますので、関心のある方は連絡してください。

二人目の講師は全国連盟遭難対策部長の井芹昌二氏。「遭難対策の到達点」という演題でした。井芹さんは埼玉県連の救助隊長を長く務められた、私のお師匠さんです。井芹さんのお話は一九〇二年の八甲田山での陸軍の遭難からはじまり、近年の遭難の特徴と対策について詳しくのべられました。その中で、特に〇七年に労山内で起きた、赤城山と兵庫県の氷ノ山(ひょうのせん)での単独行での死亡事故を詳しく報告されていました。問題点として

山行日を間違える。雪山へ単独で入った。会へ計画書を出していない。携帯電話を車に置いたまま。軽装備。午後一時に入山。などをあげられていました。この二件は極端な例かもしれませんが、安易な行動が重大事故につながることを如実に物語っています。最近の遭難の傾向については昨年の女性集会や埼玉労山フェスタでの学習内容と重複する部分が多いので、

当クラブとして気になる点のみ報告します。道迷い・転倒が多い。基本的な知識・技術不足。荷物が必要以上に大きい。街の常識を山に持ち込む。メンバーの体調の変化に気が付かない。体力の低下を自覚していない。個人山行でもリーダーを明確に。事故・遭難の少ない当クラブですが、この状態を維持するためには学習が欠かせません。例会で時間をとり、ザックのパッキング・登山計画の作り方・リーダーシップとメンバーシップなど、少しずつ学んでゆきましょう。

登山学校第十三期

「地図の読み方」

上福岡やまなみHC 古畑秋夫

山岳遭難事故は中高年が圧倒的に多く、その多くが道迷い、転落とのこと。私も過去に道迷いした(気づき戻った)ことがあり、大きな期待をもって地図読み学習に参加しました。

八月二日 机上学習

登山学校の中で人気の高い講座とのこと。地形図を広げ磁北線のひき方とコンパスの合わせ方を学習する。尾根と谷を見極め、等高線

を百m毎に色鉛筆でなぞっていくと何となく山の形が見えてくるような気がした。また、実技登山で使う地形図の通行路にマーカーで色付けし、指定ポイントまでの距離を計測し、高度を確認して断面図を作成した。細かな作業であるが時間ごとの到着地点と高度をグラフにすると、ぼんやりと山の概要が読めてきた。これで登山準備完了。最後に学習効果を確認するためのテストを実施する。その中で地形図は特別な用紙で作られており、透かしが入っていることを知り一同感激した。

た。ここから本格的な登山道である。四二〇m程の高度差で頂上であるが何しろ蒸し暑い。休息をこまめに取り、水を補給して歩くが、雑木林の急登で汗まみれである。中腹の鎖の架けられた岩場を慎重に通過し高度を稼ぎ、やつの思いで山梨百名山標識柱の立つ頂上に着いたのは十二時五十分であった。頂上から二三分南は甲府盆地を見下ろす展望地になっていた。桃の花の咲くころに来たら見事だろうと想像できる。富士山の眺望百選地の標識も立っているが雲に隠れて残念であった。

か。最初から急登が続く汗が流れる。小休息を何度か取りながら十三時過ぎ山頂に到着。昼食後、再び各ポイントをチェックしながら下山する。無事下山。出発から各ポイント毎にコンパスを振ることで、コンパスの使用法が身に付き、地形図の等高線などの読み方も理解できるようになったかな?と嬉しく感謝です。

遭難防止・安全教育担当者会議

11月15日(土) 会場 浦和コミセン (JR浦和駅東口パルコ10階) 受付 午前9:30 開会 午前10:00 議題・内容 ヒヤリハット継続審議 各会の担当者の方は出席をお願いします。

編集後記

雨が多く登山欲求が満たされていけない方も多いかと思えます。本など読んで、登山の基本を見直すのも良いかも!機関紙もよろしくね。来月は6日印刷予定です。担当の方には1週間前の原稿締め切りよろしく(アオ)